

トピックス **プラス**

3/2

毎年恒例の奉仕作業に汗

開校以来毎年続けている上沼高の奉仕活動が3月2日、上沼地区で実施され、農業クラブ員と生徒会役員が参加しました。活動は北上川河川敷のごみ拾いと、上沼ふれあいセンター周辺道路のテングス病枝駆除の2班に分かれて実施。テングス病に感染しているソメイヨシノの枝を、専用のこぎりなどを使って手際良く切り落としました。



▲テングス病の枝を手際良く切り落とす上沼高生徒

3/5

環境は掛け替えのない命

環境教育を推進する人材を育てようと、環境教育指導者研修会が3月5日、中田農村環境改善センターで行われました。市内の教職員や環境問題の関係職員ら約100人が出席。宮城教育大学環境教育実践研究センター長の村松隆教授ら3人が講師となり、環境へ関心・疑問を持つことの大切さや環境教育の課題、宮教大の取り組みなどを講演しました。



▲環境へ疑問を持つことの大切さを語る村松教授

3/6

児童の安全願い手作りマスコット

迫児童館はくちょうクラブ（後藤智恵子会長）の会員が、新入学児童の交通安全を願い、マスコット「無事カエル」を作成しました。3月6日には、駒形神社宮司及川健三さん（迫町新田）が祈祷したマスコット約230個を、市教育委員会へ寄贈しました。この活動は13年前から実施。迫町域の5小学校と迫養護学校の新入学児童に配られます。



▲クラブ会員が作成したマスコット「無事カエル」

3/14

正しい知識で禁煙を楽しもう

禁煙を考える講演会が3月14日、迫公民館で開催され、保健活動推進員や食生活改善推進員ら約60人が参加しました。講師は、日本禁煙推進医師歯科医師連盟宮城支部長の山本蒔子さん。スライドを使って、たばこが体に及ぼす影響や“禁煙の楽しみ方”などについて話しました。なお、市内には禁煙治療に健康保険の使える医療機関が4カ所あります。



▲健康やお金の節約など禁煙の楽しみ方を学びました

笑 米山で「とっておきの学習会」
いは心のビタミン剤

「とっておきの学習会in米山（米山地区各公民館主催）」が3月2日、米山農村環境改善センターで開催されました。忘れかけた笑顔を取り戻して、自分と家庭づくりに役立ててもらおうと開催。各公民館の学級生や地域住民約120人が参加しました。講師に日本笑い学会東北支部副支部長の渡邊正春^{まさはる}さんを迎え、「笑いは心のビタミン剤」のテーマで学習。おしゃれに生きる心の健康などを学びました。渡邊さんは「トイレでは鏡を見て笑顔をチェックし、おしゃれを忘れずに」などと、ユーモアを交えて語っていました。



▲何歳になってもおしゃれは大切なことを再認識した参加者



▲公社の創立15周年を記念してあいさつする高橋代表取締役

花 南方で振興公社創立15周年式典
菖蒲の郷で節目の式典

みなみかた町振興公社の創立15周年式典が2月25日、花菖蒲の郷公園「牛トピア」で開催され、関係者約50人が参加しました。旧南方町時代に「ふるさと創生事業」を活用して、町花「花菖蒲」を軸とした個性と魅力ある町づくりを進めるために、花菖蒲の郷公園整備事業を実施。南方産「仙台牛」を提供するレストラン運営のために、第三セクター(株)みなみかた町振興公社が誕生しました。式典では、布施市長や高橋貞志^{さだし}代表取締役があいさつ。祝賀会も行われ、地元産の牛肉や野菜料理を楽しみました。

楽 津山で地域活性化研修会
楽しく元気な集落づくりを

「楽しく元気な南沢づくりを考える研修会」が2月28日、横山の南沢多目的集会所で開かれました。遊休農地の解消による、地域の活性化を目的に開催したもので、地区住民約30人が参加。同地区は遊休農地が点在しており、これまでも農地の活用方法について、集落全体で検討してきました。研修会では、京津畑自治会事務局長の伊東哲郎さん（一関市）が講演。地域環境や人材育成などに共通点が多く、参加者は真剣に聴講しました。また、地域活性化委員が紅葉狩りなどの活動内容をパネルで紹介しました。



▲パネルで活動内容を発表するなど、農地の活用方法を探った研修会